

平成28年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	村石 孝子
	全体計画			経費区分	-	内線	246-2104
事務事業名	4276 学校給食センター管理事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費					
	事業	020000 学校給食センター管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
安全でおいしく、できるだけ手作りで、真心のこもった学校給食を提供するとともに、学校給食をとおして児童生徒の食育推進を図る。				「須坂市学校給食センター食育活動」の計画を策定し、学校と連携をはかり児童生徒の食育指導を計画的に進める。また地域食材の活用や行事献立等をとおして、地域や伝統文化などを考える機会を提供する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施した。	栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施する。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	学校給食県産農産物利用状況調査				
算式	県内産食品数÷全食品数×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	44	45		
	実績				
指標選定の理由	学校給食における県内産農産物利用率（全県・食材数ベース） 長野県食育推進計画における達成目標値				
最終年度 目標の根拠	県の食育推進計画による				
指標名	地産地消の推進				
算式	野菜・果物 市内産購入量（kg）÷全体購入量（kg）×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	市内産農産物を学校給食で出来るだけ多く利用する				
最終年度 目標の根拠	前年度以上を目標としたい				
指標名					
算式					単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		429,480	450,653
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	270,344	277,238
一般財源		159,136	173,415
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.9	0.9
人員 コスト	正規職員	4,324.8	4,324.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	927.0	927.0
	計	5,251.8	5,251.8
市民一人当たりの経費		8.3	8.7
総額		434,731.8	455,904.8

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	305,884	賄材料費 他
13節 委託費	108,785	警備補償委託、配送業務委託、調理業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	51	県栄養士部会負担金15千円、廃油用油処理団体負担金36千円
その他	14,760	機器賃借料ほか

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	310,198	賄材料費 他
13節 委託費	112,195	警備保障委託、配送業務委託、調理業務等委託、生ごみ処理委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	52	県栄養士部会負担金16円、廃油用油処理団体負担金36千円
その他	28,208	機器賃借料ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	学校給食のためにはなくてはならない施設	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	最低限のことはできている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	施設の老朽化による非効率性は避けがたい	

振り返り（決算年度の取組み課題）

老朽化著しい施設だが、適切に管理できた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）	次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
適切な運営に努めるが、施設の残りの期間を見据えた管理を検討する。		学校給食を通じ、児童生徒の食育推進を図ることは必要であるが、新施設の整備が決定しているため、限られた現況のなかで、最大限の事業実施を工夫して実施する必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	